

年間指導計画例①に対応した題材ごとの評価規準例

(以下の例から、授業中に評価できるよう範囲を絞って評価計画を立てることが望ましい。)

月	題材名	主な教材	題材の評価規準例		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 小さな空 'O sole mio	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	ボディー・パーカッションや“CUPS”に挑戦しよう	Plymouth Rock Clap, Tap with CUPS! ソルフェージュ⑦～⑩	・曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	見上げてごらん夜の星を 天国と地獄/C-a-f-f-e-e グリーンスリーヴス/ザナルカンドにて	・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	J-POPや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	Lemon/翼をください/負けないで 若者のすべて/東京ブギウギ クリスマス・イブ 「歌謡曲からJ-POPへの100年」 「ルールを守って音楽を楽しもう！」	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	「コード進行」をもとにメロディーをつくらう	「『コード進行』をもとにメロディーをつくらう」 「コード・ネーム」	・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。	・音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	「音楽を織りなすさまざまな要素」 組曲《動物の謝肉祭》 交響曲第9番《合唱付き》から第4楽章 バレエ音楽《火の鳥》組曲 「西洋音楽の流れ」/「オーケストラを知ろう」	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	能や謡に親しもう	歌唱：《高砂》/《羽衣》 鑑賞：能《道成寺》/「舞台芸術」	・謡(ツヨ吟、ヨワ吟)の曲想と音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり、及び謡の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、謡にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように謡うかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・謡の曲想と音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり、及び謡の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
9 10 11 12	表現を工夫してギターやウクレレを演奏しよう	ギター：日曜日よりの使者/第三の男のテーマ ウクレレ：Michael, Row The Boat Ashore/真珠貝の歌	・曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とギターやウクレレの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

9 10 11 12	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	むこうむこう/この道 「日本語と旋律」/「詩の心を大切に歌おう」 「日本語の歌詞の歌い方」 Caro mio ben/「Caro mio ben 大解剖!」 Heidenröslein(シューベルト/ヴェルナー) Ich liebe dich/オー・シャンゼリゼ	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくらう	創作:「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくらう」 歌唱:虫のこえ	・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう	花/夏の思い出/「指揮にチャレンジ」 故郷/懐かしきケンタッキーの我が家 サザエさん/言わない/ぼくは ぼくおんがく	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱やヴォイス・アンサンブルなど表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	器楽:篠笛/三線/三味線/箏から選曲 鑑賞:箏曲《みだれ(乱輪舌)》など	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ・和楽器やその作品の特徴、及び他の楽器と比較した際の音楽表現の共通性や固有性に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	世界の諸民族の音楽を知ろう	鑑賞:「世界の諸民族の音楽」 歌唱:京畿道アリラン/美しいエンメンタール	・世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、アリランやヨードルにふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
1 2 3	ミュージカル・ナンバーを歌おう	歌唱:Memory/美女と野獣 鑑賞:ミュージカル《キャッツ》/ミュージカル映画『美女と野獣』/「舞台芸術」	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	作曲家の生涯と作品をたどろう	「クローブ・アップ・マエストロ」 J.S.バッハ/W.A.モーツァルト	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	オペラに親しみ、アリアに挑戦しよう	歌唱:ハバネラ/闘牛士の歌 鑑賞:オペラ《カルメン》/「舞台芸術」	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

<p>1 2 3</p>	<p>さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう</p>	<p>ミッション:インポッシブルのテーマ タイムマシンにおねがい/星に願いを</p>	<p>・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p>	<p>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p>	<p>・曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
----------------------	---------------------------	------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

音楽 I シラバスの例

教科	芸術科(音楽 I)	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	普通科 1 年 1 組～5 組
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
副教材等	The Basics of Music(教育芸術社)				

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- 3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 年間学習計画 (学校やクラスの実態に応じて題材や教材を選択するとよい。)

月	題材名	教材名	学習活動	評価方法等
4	音楽視野の拡大			
	①さまざまな発声にチャレンジ	Ave Maria, Lemon, 翼をください, 花, 小さな空, Caro mio ben, Memory	・曲種に応じたさまざまな発声の方法について学び, それぞれの曲を歌う。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	②楽譜の読み方・書き方	ソルフェージュ, 楽典, Plymouth Rock, Clap, Tap with CUPS!	・楽譜の正しい読み方や書き方を身に付け, 表現に生かすようにする。 ・ボディー・パーカッションやコップを用いたリズム・アンサンブルをする。	課題進度状況 学習プリント
	③鑑賞とプレゼンテーション	組曲《動物の謝肉祭》	・C. サン＝サーンスについて学び, 楽曲を鑑賞した後, プレゼンテーションをする。	学習プリント
	音楽の諸要素の聴取	バレエ音楽《火の鳥》組曲(1919年版)	・I. ストラヴィンスキーについて学び, 楽曲を鑑賞する。	学習プリント
5	歌の楽しみ	'O sole mio, むこうむこう, この道, 夏の思い出, Heidenröslein, Ich liebe dich, ハバネラ, オー・シャンゼリゼ 他	・曲の性格を捉え, それぞれにふさわしい表現になるよう工夫する。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
6		ピアノ曲の鑑賞	J.S. バッハ《平均律クラヴィーア曲集》,	・鍵盤楽器の歴史について学び, 楽曲を鑑賞する。

	オペラの鑑賞	ベートーヴェン《熱情》, リスト《ラ・カンパネラ》, ドビュッシー《沈める寺》他 オペラ《カルメン》	・G. ビゼーについて学び, 楽曲を鑑賞する。	学習プリント
7	前期中間のまとめ ウクレレの弾き歌い	Michael, Row The Boat Ashore, 真珠貝の歌 クローズ・アップ・マエストロ W.A. モーツァルト 交響曲第25番, ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》他	・前期中間のまとめとして考査を受ける。 ・ウクレレの正しい奏法を身に付け, コード表を見ながら演奏したり弾き歌いしたりする。 ・W.A. モーツァルトについて学び, 楽曲を鑑賞する。	前期中間考査 観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 学習プリント
9	和楽器(三線)の弾き歌い	安波節, 海の声, ていんさぐぬ花	・調絃や勘所の押さえ方など, 三線の正しい奏法を身に付け, 曲を演奏する。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	創作表現の探求 1	創作 1 旋律の雰囲気を変化させよう	・《星に願いを》の旋律に音を加えたり, リズムや拍子などを変えたりした例を参考にし, 変奏する。	創作作品 学習プリント
	創作表現の探求 2	創作 2 演奏スタイルを変化させよう	・《星に願いを》の旋律にハーモニーとベースのパートを加えて三重奏に編曲する。	創作作品 学習プリント
	前期のまとめ		・前期のまとめとして期末考査を受ける。	前期末考査
10	リコーダー・アンサンブルの楽しみ	天国と地獄, C-a-f-f-e-e, グリーンスリーヴス 他	・リコーダーの正しい奏法を身に付け, 曲を演奏する。 ・カノンや二重奏でアンサンブルをする。	観察・聴取 課題進度状況
	和楽器(篠笛)の演奏	たこたこあかれ, 子守歌, さくら	・唇の当て方や運指など, 篠笛の正しい奏法を身に付け, 曲を演奏する。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	篠笛と太鼓による合奏	お囃子	・タイミングを合わせてアンサンブルをする。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
	日本の伝統音楽の鑑賞	雅楽《陵王》, 能《道成寺》, 箏曲《みだれ(乱輪舌)》, 尺八曲《鹿の遠音》	・さまざまな日本の伝統音楽について学び, 楽曲を鑑賞する。	学習プリント
11	ギターの楽しみ	日曜日よりの使者, 第三の男のテーマ	・ギターの正しい奏法を身に付け, TAB 譜やコード表を見ながらメロディーまたは伴奏パートを演奏したり弾き歌いしたりする。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント
12		器楽アンサンブルの楽しみ	ミッション:インポッシブルのテーマ, 星に願いを, タイムマシンにおねがい	・曲種の特徴を知る。 ・パートの役割を理解して, 音色の特徴を生かしながらアンサンブルをする。
	主題と構成の聴取	交響曲第9番ニ短調《合唱付き》から第4楽章	・L.v. ベートーヴェンについて学び, 楽曲を鑑賞する。	学習プリント

	What is JAZZ? 後期中間のまとめ	枯葉	・ジャズについて学び、楽曲を鑑賞する。 ・後期中間のまとめとして考査を受ける。	学習プリント 後期中間考査
1 ・ 2	ヴォイス・アンサンブルの楽しみ ①合唱曲 ②ヴォイス・アンサンブル	故郷、懐かしきケンタッキーの我が家、言わない、ぼくはぼく、おんがく 美女と野獣、サザエさん	・ハーモニーを感じながら合唱する。 ・ハーモニーを楽しみながらタイミングを合わせて二重唱をしたり、ヴォイス・パーカッションでアンサンブルをしたりする。	観察・聴取 課題進度状況 観察・聴取 課題進度状況
	創作表現の探求 2	創作3 オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう 創作4 「コード進行」をもとにメロディーをつくろう	・《虫のこえ》や《鳥たちの饗宴》の例を参考に、リズム・アンサンブルをつくる。 ・示されたコードやベースをもとにメロディーをつくったり、パートを重ねたりする。また、発展させたメロディーにコードを付ける。	創作作品 学習プリント 創作作品 学習プリント 学習プリント
	クローズ・アップ・マエストロ J.S. バッハ	トッカータとフーガニ短調、《ブランデンブルク協奏曲》第2番他	・J.S. バッハについて学び、楽曲を鑑賞する。	学習プリント
	世界の諸民族の音楽	アリラン、オルティンドー 他	・世界の諸民族の音楽について学び、曲を鑑賞する。	
3	1年間のまとめ		・1年間の学習の総まとめとして学年末考査を受ける。	学年末考査

3 課題・提出物等

<p>表現領域では、さまざまな実技課題が出されます。個々のレベルに合わせて習熟できるよう時間を設定していますので、目標の達成に向けて進んで課題に取り組んでください。</p> <p>鑑賞領域では、学習内容が定期考査で出題されます。教科書や学習プリントを活用してください。</p>

4 評価規準・評価方法

評価は次の3つの観点から行います。

(国立教育政策研究所のホームページより抜粋 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_ongaku.pdf)

A 表現(歌唱, 器楽, 創作)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・(事項イの(ア), (イ), (ウ))について理解している。(※創作分野の場合は, 事項イの文末を「～している」に変更する。) 【知識】 ・創意工夫を生かした歌唱表現(※器楽分野の場合は「器楽表現」, 創作分野の場合は「創作表現」)をするために必要な, (事項ウの(ア), (イ), (ウ))を身に付けている。【技能】 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きを感受しながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 自己のイメージをもって歌唱(※器楽分野の場合は「器楽」, 創作分野の場合は「創作」)表現を創意工夫している。</p>	<p>主体的・協働的に歌唱(※器楽分野の場合は「器楽」, 創作分野の場合は「創作」)の学習活動に取り組もうとしている。</p>

B 鑑賞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・(事項イの(ア), (イ), (ウ))について理解している。【知識】 (「技能」に関する評価規準は設定しない。) 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きを感受しながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, (事項アの(ア), (イ), (ウ))について考え, 音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p>	<p>主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

評価は, 学習の取り組み状況(観察・聴取), 授業態度, 実技における課題進度状況, 学習プリントの記入状況, 創作作品, 定期考査などをもとに総合的に判断して決定します。また, 成績が過去の音楽学習経験の有無によって大きく左右されることのないよう, 授業における学習到達度によって評価します。

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・演奏の授業では, 歌唱(独唱, 合唱など), 器楽(ウクレレ, ギター, リコーダー, 篠笛, 太鼓, 三線など)の分野で, バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっていきます。さまざまなジャンルにチャレンジして, 音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。 ・創作の授業では, 自分でつくった作品を発表したり, 作品について互いに意見を交換したりする機会を設けています。音楽を通してプレゼンテーションの力を身に付けましょう。 ・鑑賞の授業では, 聴くだけではなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。
